



オリーブアナアキゾウムシから木を守りましょう

近年、江田島市内でもオリーブアナアキゾウムシの被害が増えています。

「オリーブ栽培最大の難敵」と言われ、発生後に適切な対処をしなかったことが原因で木全体が枯れてしまった園地も出てきています。オリーブアナアキゾウムシの特徴と対処を改めてご紹介します。



成虫

- ・ 見つけたら速やかに捕殺しましょう
- ・ **3月中旬～11月頃まで活動**
- ・ 午前中は木の根元部分でよく活動し、気温の上がる昼から午後は木の股や枝葉の先端など、陰になる部分で休んでいることが多いです
- ・ 体長15mmほどの甲虫
- ・ 樹皮に卵を産みつけ孵化した幼虫が幹の内側を食害



① 幼虫を早期発見するために

- ・ 株元をこまめに観察しましょう
- ・ **株元に木くず状のふんが出てないか確認**
- ・ 株元が観察しやすいように、株元の除草をしっかりとしておきましょう

② 木くずが出ていたら

- ・ マイナスドライバーやノコギリ鎌の先端で、**木くずの出ている箇所の樹皮を剥がします**
- ・ **樹皮の内側に幼虫やさなぎがいます**
- ・ 見つけるまで根気よくほじくりましょう



◆ ポイント1

- ・ 皮を剥いだとき、**元気な幹は内側が白色**です
- ・ **食害のある幹は木くずが混じり内側が茶色**

◆ ポイント2

- ・ 幼虫は、**1匹見つけたら近くにもう数匹いる可能性**が高いです。根気よくほじくりましょう

③ 薬剤散布

- ・ **スミチオン乳剤の50倍液を、4～8月の間に**葉と果実にかからないように**3回散布**するのが推奨

令和4年度から**オリーブアナアキゾウムシの防除に適した農薬の購入費補助**が始まりました。詳しくはオリーブ振興室までご相談ください。

江能分級の教室から ～ 呉特別支援学校江能分級のオリーブの取り組みをご紹介します ～

総勢50名越え。

久しぶりに賑やかな時間を過ごしました。



緊張しました！
もっとお話し
したかったです！



…… 駐日ギリシャ共和国大使が来校 ……

「令和4年11月4日（金）江田島市との連携により、駐日ギリシャ共和国大使が来校され、交流記念行事を行いました。この日は大使来校を記念して江能分級に新たに2本のオリーブ（ギリシャ原産種：コロネイキ）を植樹しました。その後、大使と一緒に校庭のオリーブの実を収穫しました。一緒に収穫しながら児童生徒からの質問にも快く応えていただき、交流の花が咲きました。この日は江田島市内の学校給食に江能分級産のオリーブオイルを提供させていただき、大使にも江能分級産オリーブオイルを使用した給食サラダを召し上がっていただきました。令和3年度から始まったギリシャ大使館との交流ですが、今後も交流を継続し、掲揚台の両隣に植樹したオリーブの成長と共に、交流の輪を紡いでいけたらと思います」



…… オリーブ紙芝居を制作中 ……

「現在、高等部第2学年の総合的な探究の時間において、『オリーブ栽培で地域おこし』というテーマのもと、『オリーブ紙芝居』の制作に取り組んでいます。ストーリーやキャラクター設定等、生徒同士でアイデアを出し合いながらゼロから作り上げています。今年度中の完成を目標に頑張っています。完成後は、多くの方に見ただけの場や生徒が発表できる機会を考えていく予定です。完成をお楽しみに！」

